



販売店さんこんにちは

品質の良い商品を豊富に揃え 一般のお客様からプロまで幅広く 支持を集める店舗経営。

真鍋敬則さん ● 真鍋商事(株) (香川県丸亀市)

香川県の中西部に位置する丸亀市は、人口が高松市に次ぐ県内第2の都市です。北は風光明媚な瀬戸内海国立公園に、南は讃岐山脈に連なる山々に面しています。1602年に築かれた、石垣が見事な丸亀城は市のシンボルとなっています。昭和22年創業の真鍋商事(株)は、店舗である「ホームセンターディスカまなべ」とガソリンスタンドの運営、プロパンガスの販売の多角的な経営を行っています。

駅近くで始めた金物店が 現在に続く商売の原点

高松琴平電気鉄道琴平線栗熊駅から500m、北西へまっすぐ向かった県道22号線沿いで「ホームセンターディスカまなべ」を運営する真鍋商事(株)。現在に続く商売の始まりは昭和22年のことで、「創業者の父が栗熊駅から100mほどの交差点の角で、鍋や釜など日用金物の店を始めました」と話すのは2代目社長の真鍋敬則さん。当初は生活金物だけを扱っていましたが、次第に建築金物も販売するようになっていきました。

昭和36年に真鍋商事(有)に法人化し、プロパンガスの販売を開始。その翌年にガソリンスタンドをオープンし、さらに昭和59年には、現在の地に「ホームセンターディスカまなべ」を開店し多角的に事業を展開していきます。「この地域でホームセンターを始めたのは非常に早く、当社のターニングポイントになりました。当時は150坪程度の店舗に商品を詰め込むようにして販売していました」と真鍋社長。

平成2年に店舗を約1000坪に大幅増築し、電動工具などのプロ向け商品や、エアコン、冷蔵庫などの家電の売り場スペースを拡充しました。その後、平成11年に真鍋社長が37歳で2代目に就任し、真鍋商事(株)に組織変更しました。「私は学生時代、医者を目指していたのですが、先代に反対されて断念しました」と真鍋社長は笑顔で当時を振り返ります。真鍋社長に代替わりして以降、ガソリンスタンドについてはセルフ給油をいち早く採用し、3号店もオープン。「ホームセンター



▲良品が豊富に揃う「ホームセンターディスカまなべ」

ディスカまなべ」については、正月以外は年中無休で営業しています。

品質の良い確かな商品を 丁寧に説明して販売する

「ホームセンターディスカまなべ」が一般の方からプロまで幅広く支持を集めている大きな理由は、品質が良く信頼できる商品を数多く揃えていることです。「お客様がそれほど使わないと言っても、品質の良い商品を買って二度とお店に足を運んでくれませんか。今はお陰様で『ディスカまなべで買った商品に悪い物はない』という評判が広がり、お客様から信頼を得られています。また、先代の時代は高度成長期でもあり、ジャンルをとわず品質のよい目新しいものを店に置いたら何でも売っていたようです。今は物も豊富になり、新製品もたくさん出廻り、以前にもまして商品選定には細心の注意を払っています」と真鍋社長は自信を持って語ります。

幅広い商品を扱う中でも充電式の工具や園芸工具の販売が特に好調です。その秘訣は、お客様の共感を得られる丁寧な説明にあります。「最近はかなり数の充電式草刈機を販売しています。私の曾祖父の代までは農家で、今でも私は米を作っています。それで田んぼの草刈りなどに私自身、充電式草刈機を実際に使っているんです。その経験を踏まえ、この速度ならバッテリーは何時間持つとか具体的に説明することでお客様は信頼して購入してくれますし、販売後のトラブルも一切ありません」と真鍋社長。また販売後のメンテナンス等にきめ細かく対応していることも多くのお客様から支持を集めている理由です。

守備範囲の広さが強み 公共事業にも注力!

店舗のある旧綾歌町は、平成17年に丸亀市に合併しました。「以前は人口1.5万人

ほどの町でしたが、10万人規模の丸亀市になって以降、自治体の公共事業への営業を積極的に行なっています。大抵のご要望に対応できる守備範囲の広さが当社の強みです。それが徐々に浸透し、信頼していただけるようになっていきました」と手応えを語る真鍋社長。店舗販売事業と燃料事業を両輪とする同社は、今後も地元へ欠かせない存在として愛され続け、更なる発展を遂げていくことでしょう。



▲お客様から信頼される真鍋社長と店舗スタッフの皆さん
※撮影の為、マスクを外しています。

ちよつといい
“モノ”
語り

大学の書道会で
愛用していた
自作の落款印



慶應義塾大学の三田キャンパスで学生生活を過ごした私は、100年の伝統を誇る書道サークル「慶應義塾大学書道会(通称三田書道会)」に在籍していました。書道家を輩出するような本格的に取り組んでいるサークルです。展示会にもよく出品しており、これは自分の作品に完成の証として捺していた落款印です。私の名前と慶應義塾大学の教育理念「独立自尊」の文字を自分で彫って作りました。

この落款印は今でも学生時代の仲間などに送る年賀状に使用しています。あまり文章を書かなくても落款印を捺すだけで様になるようなところがありますし、当時のことを思い出させてくれるという意味でも重宝しています。これからも大切にしていきたいです。